

「しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥とさないませんでした。事実、神は彼らの為に都を用意しておられました。」ヘブル 11:16 パトモスチームが無事に帰国できて感謝します。皆様のお祈りを有難うございました。チームが帰国した後、エーゲ海の島にテロが起こり、本当に何が起こるか分からない時代に入ってきたなーと実感します。戦争、戦争のうわさ、飢饉、洪水、地震と世の終わりの兆候が多く現れていますが、黙示録の患難時代には更に凄まじい事が起こるでしょう。その上、反キリストや偽キリストが出てきて、クリスチャンを迫害し、真理に立ち続けるなら殉教者が多く起こってきます。

帰国直前ですが、日本では日野原重明氏が 105 才で天の故郷に帰られました。聖路加病院の院長として命の大切さを説き、医者として社会的にも大きな貢献をされたクリスチャンでした。59 才の時、ハイジャックにあい「恐れるな。神様が共におられる。」と言葉を聞き、4 日目に助かった時には、「この命は与えられたのだから、これからはこの命（僕の持っている時間）を 誰かの為に提供すべきだ。」という新しい世界が開かれたそうです。誰しも“死”を迎えます。「人間には、一度死ぬことと死後に裁きを受けることが定まっている～」ヘブル 9:27 しかし自分の罪を認め、救い主を受け入れて救われた人は、永遠に神と共に生きる人生が待っています。いのちは死で終わるものではありません。素晴らしい永遠に続く神と共に歩む人生が待っています。

黙示録は患難時代とそのあとは永遠について書かれてあります。千年王国、新天新地、新しいエルサレム（2、220km の立方体。周りは 66 メートルの城壁）がイスラエルあたりに下ってきます。「目の涙をすっかり拭いとってください。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない」サタンは創世記 3:1 から黙示録 20:10 まで現実に働いていますが、黙 20:10 に「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。」とあるので、その後白い御座とそこに着座しておられる方ができて、永遠の世界が広がってゆきます。この世において「旅人」「寄留者」であり試練があります。「堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。」目を覚まし勝利にあずかれるように、主に信頼し主の助けを受けてゆきましょう！！私達の本当の故郷は天です。素晴らしい永遠の都、神が用意されておられる天のエルサレムです！！

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト

ノア勝裕 & 和子



Siloam

2017 年 7 月 23 日 No.955

(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9:7)

新年度の御言葉

「それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ 2:17

♪ God is working <for my good ,> ×2

God is working for my good, Yes ,You really are!!



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>